

2024年4月15日

各 位

会 社 名 株式会社ワイズテーブルコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 船 曳 睦 雄
(コード：2798 東証スタンダード)
問合せ先 取締役執行役員 武 本 尚 子
(TEL：03-5412-0065)

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日付で別途開示いたしました「2024年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、これまで記載しておりました「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴って売上高が著しく減少し、2021年2月期から2023年2月期まで継続して重要な営業損失を計上したこと、金融機関と締結した借入契約の一部について契約上の返済期限が短期となっていたこと等から、継続企業の前提に重要な不確実性が存在すると認識し、「継続企業の前提に関する注記」を記載してまいりました。

このような状況を解消すべく、当社グループは、収益構造の改善、資本の増強、資金の確保等に取り組んでまいりました。まず収益構造の改善につきましては、提供する付加価値の向上を通じた客単価の引き上げを進めたこととコスト削減を進めたことにより、コロナ禍前の水準まで売上高が戻らない場合でも利益を確保できる体制をつくることができました。次に資本の増強につきましては、2021年2月期末において債務超過となっておりましたが、2021年5月及び2023年2月に第三者割当増資を実施し、債務超過を解消いたしました。3点目の資金の確保につきましては、第三者割当増資、新規の金融機関借入や各種助成金の活用等により資金調達を進めました。更に、売上高の回復と収益構造の改善による利益の増加もあり、資金繰りに懸念のない水準の手許現預金を維持することができております。また、金融機関取引につきましても、2023年10月に取引先金融機関とシンジケートローン契約を締結して、返済期限を長期化いたしました。

このような取り組みの成果に加え、2023年2月期後半以降経済活動の正常化が進み、弊社を取り巻く事業環境も改善してまいりました。よって当社グループは、2024年2月期末において、当社グループについて継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断いたしました。

株主の皆様、お客様、お取引先をはじめとするステークホルダーの皆様には多大なるご心配をおかけしてまいりました。今後も企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上

本リリースに関するお問い合わせ先： 株式会社ワイズテーブルコーポレーション
経理・財務・IRグループ TEL 03-5412-0062